

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 193番
- *交読文 8番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 523番
- メッセージ 栄光の家系の女達 - ウリヤの妻 忠実なヘテ人ウリヤ(2サムエル記11:1-13)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 388番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

神は光であって、神には少しの暗いところもない。
 神と交わりをしていると言いながら、もし、やみの中を歩いているなら、わたしたちは偽っているのであって、真理を行っていないのではない。しかし、神が光の中にいますように、_____も光の中を歩くならば、_____は互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪から_____をきよめるのである。
 もし、_____にひあ罪がないと言うなら、それは自分を欺くことであって、真理は_____のうちにない。もし、_____が自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義から_____をきよめて下さる。(1ヨハネ1:5-9)

栄光の家系の女達の第四人目は、ウリヤの妻、バテ・シェバである。
 彼女は、それまでの3人とは、色々な面において異なっている。今までの3人は、何かしらの信仰の行動を起こして、栄光の家系へと加えられたが、彼女は、特に何か行動を起こしたわけでもない。
 彼女はただ為されるがままである。体を洗っている裸を、ダビデ王に勝手に覗かれ、一方的に王に召しだされ、王の姦淫の相手とされ、そして一方的に王の子をみごもり、後には、一方的に夫・ウリヤは謀殺され、彼女はダビデ王の妻として迎えられ、そして、生まれて来た子は、王の罪の故に、主に打たれてしまった。マタイの福音書には、バテ・シェバという名は記されず、「ウリヤの妻」として記されている。だから彼女を見る時、「ウリヤの妻」として見る必要があり、そしてウリヤがどのような人であったかを、まず知る必要がある。

ウリヤはヘテ人である。つまり、イスラエルが忌み嫌っているカナン人の末裔ではあるが、ウリヤという名前は「主(ヤハウェ)の光」という意味があり、また、ダビデの三十勇士の一人に数えられていたため(2サムエル記23:39)、恐らく彼も、ルツのように、イスラエルの神を慕い求めて来た異邦人の改宗者だったのだろう。彼は、バテ・シェバという美しい妻を迎えた。彼女は、ダビデの三十勇士の一人エリム(2サムエル23:34名前の意味:神の民)の娘で、きっとエリムは、ウリヤのその純粋な信仰と、誠実な人柄のゆえ、また、戦士としてのその有能さのゆえ、彼がヘテ人であるにもかかわらず、自分の娘を嫁がせたのだろう。彼は、偉大な王ダビデに仕える戦士とされた事と、美しい神の民の娘を妻として迎えた事、そして、イスラエルの神に仕える者とされた事を喜びつつ、忠実に責務を果たす日々を送っていたのだろう。

その日もウリヤは、アモン人との戦争のために、イスラエルの全軍と共に遠征していた。しかしダビデ王は、イスラエルの全軍が遠征に出かけていたのに、彼だけはエルサレムに留まっていた。『ある日の夕暮、ダビデは床から起き出て、王の家の屋上を歩いていたが、屋上から、一人の女が体を洗っているのを見た。その女は非常に美しかった。ダビデは人をつかわしてその女の事を探らせたが、ある人は言った、「これはエリムの娘で、ヘテびとウリヤの妻バテバではありませんか。』(2サム11:2) 律法によると、人妻と通じる者は死刑であるのに(レビ記20:10)、ダビデは、ヘテ人の妻なら何しても良いと思ったのだろうか、彼は使いをやって彼女を召し入れ、彼女と寝た。しかし、タマルの時と同じように、この、たった一度の逢瀬により、彼女はみごもる事になる。

ダビデ王は、彼女がみごもった事を聞いて、自分の罪を隠そうと、一計を案じる。
 彼は、ウリヤを自分の所に送るように命じ、彼から適当に戦いの状況をたずねてから、家に帰るよう命じた。ウリヤからすれば、あの尊敬する神の民・イスラエルの王・ダビデのお墨付きで、しかも贈り物つきである。普通なら、喜んで美しい妻の待っている家に帰り、久しぶりに妻と一緒に時を楽しむ所だが、そうではない。「神の箱も、イスラエルも、ユダも、小屋の中に住み、わたしの主人ヨアブと、わが主君の家来たちが野の表に陣を取っているのに、わたしはどうして家に帰って食い飲みし、妻と寝ることができましょう。」(11節) 彼はなんと忠実な人だろうか！主御自身も、イスラエルも、主人ヨアブも、戦いに出て野営している、それに引き換え自分だけ家に帰り、妻といい思いをする事など、できない、と言うのである。それに引き換え、ダビデ王は一体、何をしたのだろう。主も、部下も、戦いに出て野営しているというのに、彼だけ王宮に留まり、しかも夕方に起きだして屋上を散歩し、人妻を見て欲情し、姦淫する。ダビデ王は、ヘテ人のこの忠実な一兵士の言葉を聞いて、悔い改めるべきだったが、そうはせず、かえってますます罪を隠そうとし、ついには、この忠実なしもべを殺そうとたくらむまでになってしまう。ダビデ王と言えば、誰もが認める偉大な王である。ちょっとくらい、人妻と寝ても良いのでは、と思われる。かもしれないが、主の光に照られる時、むしろ王だからこそ、そのような事は、許されないのだ。福音書の系図に、なぜ「ウリヤの妻」として記されたか、それは、忠実なウリヤというヘテ人がいた事が記録され、多くの人に知られるためではないだろうか。主は、ウリヤのように、一外国人であっても、主と主君に忠実な人が陰謀によって殺され、人知れず暗闇の中に葬り去られる事など、決してゆるさないのである。その主のご性質は、弱き人にとっては慰めであり、強き人にとっては、戒めとして覚えておくべきである。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳有) 10:30
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝 14:00
聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト